



# 磐城時報

五一町屋緒町平縣島福  
成弘田岡行發兼輯編  
社報時城磐上同所行發

石田吳服店  
小高町 電話四七番

日一二  
小高町

株式

出張所

主任 吉村今朝太郎

會津原

藤鐵藏

助役

瀧澤作治

兵衛

外支局員一同  
原町

## 新年

### 謹賀新年

## 癸酉新歲を迎ふ

新陽燦乎たり、海色昭乎たり、瑞光祥氣は遐邇に洽く、頌聲歡歌は都鄙に溢る。茲に昭和癸酉新春を迎へて、吾人先づ、聖壽の萬々歳を祝し奉り、併せて江湖諸彦の清福を慶賀する。

歳華革る毎に、天地清新の氣に満ち、萬人椒柏の頌を唱ふるを常とする。その慶祝すべきは、嘗に今年のみではない。

だが國運は歳と共に隆昌を加へ、文化は日に月に進展する。昭和第八春の芽出度さは、決して昨歳又は一昨歳の芽出度さではないこと確實であり、明瞭である。更に況んや、東洋永遠の平和を確保せんが爲めに、寧ろ世界平和の基を築かんが爲めに、國家の全力を擧げて、全國民一致の努力を傾注して、國際正義貫徹の大旗下に、勇往邁進を續けつゝある際に方つて、茲に鳳曆の改まるに逢ふたのである。國家百年の大計確立を眼前に見つゝ、天地瑞光に包まれる、今日の新正を迎へたる吾人、如何でか從來曾て經驗せざるほどの歡喜慶祝の情に抃舞せざるを得やうぞ。

又更に、之れを我國の指導承認によつて確乎たる獨立國の國礎を固め得たる滿洲國に視るも、今日の新春こそは、建國最初の第一春なのである。同國八千萬民衆の慶福眞に何物にか譬へん、恐くは百世に傳へらるべき今次第一春を迎へたる歡聲は、上下相和して、大天大地をも搖がすであらう。

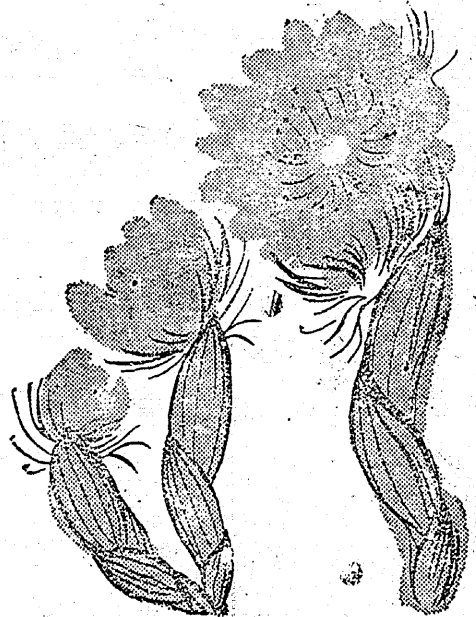
常に東洋平和の攪亂に任ずる支那の迷妄兇暴の如き、我が國際正義の大旗下には、必ずや悅服し懾伏すべきである。

斯くの如くにして、我皇の綾威は四海を風靡し、我皇の德澤は内外に光被し、神州日本の世界的大飛躍は、期して待つことが出来るであらう。

噫、生を此國に享けて、此聖世に際會す。吾人の喜悅何物か之れに如かん。天下萬衆と共に茲に謹んで今日の新正を壽ぎ、我皇の萬々歳を奉頌する。

昭和八年一月一日

磐城時報社同人



西歳生れの名士 最近の關内正二氏

實業界政界の大立物 品子夫人の隠れたる援助

平町に於ける西歳生れの名士とある。更に平町に於ける唯一の... 關内正二氏を擧げ度い。關内氏を二期も勤め、過般は亦債務に支店を設け、郡山市、關本...



十三歳から奮闘した 三井吳服店主柏原氏

還暦の齡を迎へて 家運益々隆昌

平町三丁目三井吳服店主柏原幸共同して吳商を営んだ事も... 次郎氏は明治六年十月二十二日つた。この頃既に平町に於...



任命されて以來實に二十年の勤社、磐城建物株式會社の重役... 現在では副組頭として平吳服商組合長、平庶民金庫の...



「鶏」辞典

鶏冠 鶏の冠をさかこで、しかし支那人はいつたです「鶏... 口となるも牛後となる勿れ」と...

謹賀新年

- 平運輸株式會社 平料理屋組合 平旅館組合 石城郡各學校長 平町砂礫商同業組合 信用組合平庶民金庫 宮川理髮店 理髮店石崎幸一 平産婆看護婦學校 由良之助 石城郡町村長會 平三業保健組合 平西洋料理業組合 平電力株式會社 江名漁業組合 小名濱水産株式會社 福島貯蓄銀行平支店 平土木監督所長 小林清吉 二葉印刷所 熊謙次郎

八幡村役場 村長 今野善治 高島式馬耕機 良農具一式製造販賣所 小高町 町長 庄藏 日立木村役場 村長 丸山古平 妙見散 妙見齋 諸處方 小高町 商會 木材建築請負 薪炭 小兒カンの妙藥 消食散 一名カケの藥



<p>堀江工業株式會社 社長 江口忠一</p>	<p>芳香園理髮器具店 平町驛前 電話六八〇番</p>	<p>大谷時計病院 平町三丁目 電話十九番</p>	<p>高橋商會 平町字白銀町 電話六三八番 高橋龜松</p>	<p>大一屋商店 平町字二丁目 電話十三番</p>	<p>工商會 平町字搦籠小路 電話三六一番 佐々木健一郎</p>	<p>債券兩替 多田井質店 平町大工町 電話五九一〇番</p>	<p>御料理 末廣亭 平町字田町 電話四二二一〇番</p>	<p>旅館 住吉屋本店 御料理 青天目源一郎</p>	<p>伊藤淺之助 石城郡飯野村</p>
<p>阿部政右衛門 平町字搦籠小路</p>	<p>植田郵便局長 馬上守一</p>	<p>辯護士 眞木桓</p>	<p>金山崎合名會社</p>	<p>豐間大敷網事務所</p>	<p>磐城建物株式會社 支配人 井上貞治 郎</p>	<p>湯本信用無盡株式會社</p>	<p>平町藝妓屋組合</p>	<p>磐城片倉製絲株式會社</p>	<p>三井吳服店 平町三丁目 電話二三八四番</p>
<p>三三三肉店 平町田町 電話三三三番</p>	<p>廣瀨支店 和洋酒 白菊 問屋 廣瀨支店 平町田町 電話五四番</p>	<p>伊勢屋商店 平町四丁目 電話四五番</p>	<p>濟淋水野藥局 平町一丁目</p>	<p>岡山寫眞館 平町南町 電話六一五番</p>	<p>吉田屋吳服店 平町鍛冶町 電話二二番</p>	<p>織田材木店 平町紺屋町 電話四六〇番</p>	<p>佐藤三平 內郷消防組頭 內郷村小島 電話四三〇番</p>	<p>世界館 活動 常設 鈴木寅次郎</p>	<p>久保田パン店 平町十五丁目 電話三八三番 賣店 平町二丁目 電話一〇番</p>
<p>井 平町南町 電話一六七番</p>	<p>御髮結 吉田ミサホ 平町新田町</p>	<p>三井履物店 平町二丁目 電話一五六番</p>	<p>田中宣治 平町新川町 電話五六七番</p>	<p>谷屋吳服店 平町新川町 電話四三七番</p>	<p>平銃砲火藥店 平町新川町 電話一〇番</p>	<p>大黒屋洋品店 平町三丁目 電話一六六番</p>	<p>瀨尾藥店 平町搦籠小路 電話五五三番</p>	<p>松田卯次郎 平町 電話三三〇番</p>	<p>越の家 平町二丁目 電話三三〇番</p>

### 青沼町長への慰勞金 一般町民が非難 將來の町治不安視さる

十月中旬平町長に就任し僅か二ヶ月を経過したばかりの青沼町長に慰勞金三百圓を贈つたといふので平町民の殆んど全部は呆然とし平町政の前途に暗雲現はれたりと有識者は將來を憂慮し始めた事は寧ろ當然過ぎる程當然と言はねばならぬ。平町長に對する年末慰勞金は長年五百圓であつたものを昨年不況と半ば憤慨の面持である。尙ほといふ事が表面の理由で四百五十三圓減額されたもので、この野崎満藏、その他一二の人々は割合からすれば青沼町長には百欠席であつた由であるが、出席圓で充分であるわけである。二した某町會議員は語る。

○朝海 秋原たけ

おらげく日は上りけりわだつみに  
立つ波もなき静けさにして。  
打寄する波も音なく静もりて  
光あまねきあさばらけ哉。

佐々木 顯

朝日子のさし出るかたゆきさらさら  
大海原の波ぞかかやぐ。  
朝霧に沖はかすみ白波の  
なぎさに寄する音もどころに。  
朝日子のいまか登らむうららかに  
大海原はかがやき初むる。  
朝霧に沖はかすみ白波の  
なぎさに寄する音のどけき。

百圓位は止むを得まいと町民は考へてゐたらしいが三百圓といふ額は夢想だもしてゐなかつた事である。最近では貴方方が悪いと一部町民は青沼町長を非難し始めた。その人々は語る。  
『昨年暮れ見町長に對する慰勞金を感情問題からだと信じてゐるが、兎に角表面は財界不況といふ事を理由にして一割を減じ四百五十圓にする提案をなした議員は青沼氏であつた。本年は昨年と比べると』

謹賀新年	鈴木自動車部	和泉屋旅館	根本園茶店	平町材木町	櫛田榮太郎	御菓子	マツモトヤ	平町四丁目 電話二二四番	御料理 君乃家	平町田町 電話三二八番	平紺屋町郵便局	長瀬量平	瀧川さよ	御料理 玉よし	平町南町 電話四二六番	圓谷商店	平町紺屋町	百澤商店	平町田町	中島寫眞館	中島孟	御料理 大貞	平町田町 電話四一三番	御料理 吉田入道軒	吉田滋吉
------	--------	-------	-------	-------	-------	-----	-------	--------------	---------	-------------	---------	------	------	---------	-------------	------	-------	------	------	-------	-----	--------	-------------	-----------	------

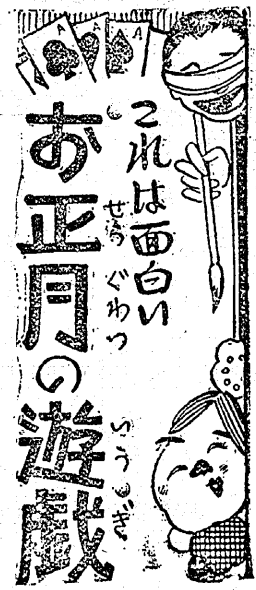
石城郡平窪村	辰ノ口本家 松本徳一	電話(平)二八五番	牛御料理 石川亭	平町田町 電話四三番	平町五丁目	モリタヤ洋品店	電話三五三番	平・田町	各學校御用 大塚製靴部	運動具部	主大塚風三郎	電話七七番	組合長 佐川洋服店	三丁目電話四一八番	幹事 搔搥小路 高崎洋服店	丸善洋服店	會計 鈴木洋服店	白銀町 電話三八六番	高島屋洋服店	三丁目 電話八九番	江島屋洋服店	白銀町 搔搥小路 猪狩洋服店	一丁目 ヒツジヤ洋服店	搔搥小路 小松洋服店	白銀町 市川洋服店	南町 金子洋服店	二丁目裏 渡邊洋服店	南町 松屋洋服店	紺屋町 關洋服店	白銀町 市川洋服店
--------	------------	-----------	----------	------------	-------	---------	--------	------	-------------	------	--------	-------	-----------	-----------	---------------	-------	----------	------------	--------	-----------	--------	----------------	-------------	------------	-----------	----------	------------	----------	----------	-----------

謹賀新年

石城郡内病醫院 (同不序順)

井坂醫院	平町田町 (電話五五九番)	明雲堂眼科醫院	平町前 (電話六六九番)	實川醫院	平町田町 (電話二七〇番)	市原醫院	平町田町 (電話一四四番)	佐藤齒科醫院	平町四丁目 (電話五〇八番)	志賀齒科醫院	平町字五丁目	木村外科醫院	平町六丁目 (電話三〇九番)	平醫醫院	平町五丁目 (電話一九八番)	木村病院	產婦人科 平町新川町 (電話一六七番)	安齊外科醫院	平町田町 (電話四七五番)	原齒科醫院	平町土橋 (電話三一三番)	上田外科醫院	平町南町 (電話二二九番)	増田耳鼻喉科醫院	平町南町 (電話四八二番)	川井内科診療所	平町南町 (電話一八一番)	山内醫院	耳鼻咽喉科 平町田町 (電話六九二番)
------	---------------	---------	--------------	------	---------------	------	---------------	--------	----------------	--------	--------	--------	----------------	------	----------------	------	---------------------	--------	---------------	-------	---------------	--------	---------------	----------	---------------	---------	---------------	------	---------------------

昭和七年一月一日



### お正月の遊戯

昔々、つと其の昔から行はれ、口をさかして遊ぶ遊戯で、今日の人々にしては悲痛な顔から可笑しい顔は一寸忘れられたかたちになつてゐる。それだから辛抱して笑はざるは、お正月にやつて御覧なさい。いでやの室内遊びを二ツ三ツお教へ致しませう。

**何しろお正月のことですから**  
お隣の宿がへをするやうに痛快にお遊び下さい。それにはお祖父さんもお祖母さんもお母さんもお父様をお仲間に入れて、一家兄弟姉妹揃つて、智恵比べ、腕比べに、キャッ、と思ひきり打ち興じて下さい。

**皆様は、忘れられたこの遊戯**  
によつて、それこそ身も心も笑ひの國へ誘はれて行くに違ひありません。

**夢の遊戯**  
お友達がみんな集まつたなら、風呂敷の中へ鉛筆やインキ、ノット、書籍、人形、ボール、お皿、筆、等々その他何んでも勝手なものをに入れて出します。そして「つくり御覧」と出して一分たつたら「終り」と夢のやうにかくして丁ひます。それから鉛筆と紙をみんなに渡して、今眺めた品々を一つもさす書いて貰ふのですが、一番正確に、一番澤山書けた人が一番勝つことになるのです。ありもしないもの、名などを書くと「何んの夢を見たんだい」と一本やられるのです。

**こより角力**  
紙よりを二尺位につないで、二人が向ひ合つて座ります。そしてその紙よりを、鼻と上唇の間にはさんで、引つぱりつこをやるんです。笑つては出来ませんから面白いのです。オヤ、

**盲目道場**  
この遊戯は剣道遊戯等よりすつと愉快です。先づ裏庭に出てフットボールを木の枝からつるして置いて、交る、手拭で目をかくしをし、年、棒でそのボールを叩くのですが、あつたりあつたらなかつたり、まつたり面白いです。當れば一点で点をとつて十回で一勝負つけるのも結構です。

**盲目火けし**  
ロウソクをともして、その場所をみながらよく見て置きます。そして今度は一人づつ、目をかくしをし、さアその火は火吹竹をもつて行つて、そのロウソクの火をふき消して御覧。

**早口競争**  
つぎの言葉を作るべく早く、間違はないやうに云つて御覧なさい。間違つた人は罰として何か藝をやるのも面白いでせう。

一、長巻紙に赤巻紙  
二、あせ鱈田鱈  
三、小米の生米、小米の生米  
四、生麥、生米、生卵  
五、備中の家中が道中の府中  
で夜中に焼酎呑んで口中が痛んで夢中になつた。

**阿彌陀の光**  
この遊戯は一度に八人の占ひが出来来るから除興としても面白遊戯です。先づ半紙の真中に圓を描き、これを中心から線で

もつて八等分し、その中心に近い所に「初めよくて後悪し」とか「今暫らくが御幸抱」とか「目かかなり上りなまて上つたやうに感す、題して「飛行機乗り」皆様に「今暫らくが御幸抱」とか、種々の出度い事がある」とか、種々の文句を都合八つ書き、皿か鉢かで中心の所を上から伏せて文句を隠し、之を一同に示しその八つの區別の何れかを選ばせ、一々名を書いてから皿か鉢を取り除け銘々の運命を夫れ、一々読み上げるのです。珍奇な文句を入れておく程興味を惹いて面白いです。

**飛行機乗り**  
これは一つのメンタルテストになる云つてもよいなかく、意義もあり面白い遊戯であり先づ一枚の裁縫板か火熨板の一寸巾に三尺位の長さの板を用意しまして、その板の両端に一人づつ立ちます。

即ちこの圖のやうにA Bに配列して、Dにお客を乗せて眼かくしをし、そしてCの處に一人立ちまして、DはCの方へ向つて来り、両手をCの肩につかまるやうにして置きます。

するとA Bは聲を揃へて、「今から高い所へ上りますからどうかそのおつもりで……」といふやうなことを云つて、静かにA Bは板の両端を持つて五分位及一寸二寸と三寸位まで持ち上げて行きます。

するとDの両手を肩でうけてゐるCは板の上つてゆくにつれて身体をだん／＼板の上る寸法よりも多くして、身体を低めて行きます。そして一同は

「あ、あふない天井につかへるぞか」「ア随分上つたことなぞか」如何にも高くあげたやう云ひまして「サアもう此の邊で止りますから、一つ飛び降りてごらなさい」と云つて、Cは身体を除け、板の上つてゐるDに飛び降りることを命じます。ところが、Dは僅か二三寸より上つ

て居らないのに、Cがだん／＼と身体を低くした事によつて、Cで非常に面白いものでありま

す。題して「飛行機乗り」皆様に「今暫らくが御幸抱」とか、種々の出度い事がある」とか、種々の文句を都合八つ書き、皿か鉢かで中心の所を上から伏せて文句を隠し、之を一同に示しその八つの區別の何れかを選ばせ、一々名を書いてから皿か鉢を取り除け銘々の運命を夫れ、一々読み上げるのです。珍奇な文句を入れておく程興味を惹いて面白いです。

す。題して「飛行機乗り」皆様に「今暫らくが御幸抱」とか、種々の出度い事がある」とか、種々の文句を都合八つ書き、皿か鉢かで中心の所を上から伏せて文句を隠し、之を一同に示しその八つの區別の何れかを選ばせ、一々名を書いてから皿か鉢を取り除け銘々の運命を夫れ、一々読み上げるのです。珍奇な文句を入れておく程興味を惹いて面白いです。

す。題して「飛行機乗り」皆様に「今暫らくが御幸抱」とか、種々の出度い事がある」とか、種々の文句を都合八つ書き、皿か鉢かで中心の所を上から伏せて文句を隠し、之を一同に示しその八つの區別の何れかを選ばせ、一々名を書いてから皿か鉢を取り除け銘々の運命を夫れ、一々読み上げるのです。珍奇な文句を入れておく程興味を惹いて面白いです。

す。題して「飛行機乗り」皆様に「今暫らくが御幸抱」とか、種々の出度い事がある」とか、種々の文句を都合八つ書き、皿か鉢かで中心の所を上から伏せて文句を隠し、之を一同に示しその八つの區別の何れかを選ばせ、一々名を書いてから皿か鉢を取り除け銘々の運命を夫れ、一々読み上げるのです。珍奇な文句を入れておく程興味を惹いて面白いです。

す。題して「飛行機乗り」皆様に「今暫らくが御幸抱」とか、種々の出度い事がある」とか、種々の文句を都合八つ書き、皿か鉢かで中心の所を上から伏せて文句を隠し、之を一同に示しその八つの區別の何れかを選ばせ、一々名を書いてから皿か鉢を取り除け銘々の運命を夫れ、一々読み上げるのです。珍奇な文句を入れておく程興味を惹いて面白いです。

**謹 賀 新 年**

(同不序順) **平 町 會 議 員**

猪狩庄平	吉村安治郎	櫻井清	坂本隆藏	石山治三郎	萩原義雄	馬目雅治	荒川淺次郎	吉田寅之輔	佐々木龍若	關内正一
------	-------	-----	------	-------	------	------	-------	-------	-------	------

福島縣自動車協會平支部  
縣立水産試驗場長  
飛塚高次

**謹 賀 新 年**

(同不序順) **石 城 郡 内 郡 病 院 醫 院**

金成醫院 平町鎌田町 (電話三五八番)	大和田醫院 平町南町 (電話一七〇番)	星眼科醫院 平町南町 (電話四七一番)	松村醫院 平町南町 (電話一〇七番)	酒井醫院 平町南町 (電話五五番)	丹野齒科醫院 平町南町	青沼醫院 平町城山 (電話四〇三番)	萩原齒科醫院 平町南町 (電話三五九番)	小林醫院 勿來町窪田 (電話四八番)	片岡醫院 植田町本町 (電話一〇七番)	森合齒科醫院 植田町 (電話七一番)	江名町長 河野嘉藏	江名信用販賣組合 組合長 太清左衛門	脱脂綿卸 タマキヤ商店 平町紺屋町 電話六七一番
------------------------	------------------------	------------------------	-----------------------	----------------------	----------------	-----------------------	-------------------------	-----------------------	------------------------	-----------------------	-----------	-----------------------	-----------------------------

### 平消防組 分擔變更

平消防組では本年度から左の如く分擔を變更した。  
▲組頭 井上茂作  
▲副組頭 柏原幸次郎  
▲第一部長 會計 關内正一  
▲第二部長 岡田政次郎  
▲第三部長 鈴木長三郎  
▲自動車部長 鈴木彌太郎  
▲會計主任 堀江正茂  
▲蒸気ボンブ主任 高根澤長太郎  
▲第二ガソリン主任 佐川三郎  
▲第三ガソリン主任 酒井清  
▲シオ主任 三井富吉

### 社告

恒例により本紙七日まで休刊  
仕り候間御諒承下され度候

### 磐城時報社

▲醫師會總會 石城郡醫師會では八日午後一時から平町マルトモホールで總會を開き報告、協議の後新年宴會を催はす

### ▲新年名刺交換會

平町役場では恒例により一月一日午前十一時から聚樂館に於て新年名刺交換會を催はすが、參會者八百餘名の豫定である。

### ▲原町名刺交換會

原町に於ける一月一日の官民合同名刺交換會は午前十時より同町公會堂に於て盛大に舉行せらるゝが、緊縮の趣旨を以て特別會費を三十錢と決定した。

### 原町各學校送拜式

原町に於ては縣立農蠶學校を始め小學校共一月一日午前八時より各學校講堂に於て送拜式を舉行し 皇室の万福を祈り萬歳を三唱して散會した。

# 謹賀新年

磐城共濟會會長 井上茂作

磐城共濟病院長 醫學博士 石山謙郎

## 豐間漁業組合

組合長 遠藤惣三郎  
理事 鈴木繁松 鈴木常吉  
監事 鈴木大峰 馬家喜七 大塚豊次郎

旅館 炭屋  
御料理 關内喜久次郎

石城郡高久村 鈴木喜太郎

村長 鈴木喜太郎  
助役 本馬武

石城郡豐間村 鈴木藤次郎

村長 鈴木藤次郎

自動車修繕 佐藤巖  
自動車部分品 平町南町 電話三八一

平町二丁目 中野洋品店 電話五十三番

平町新川町 命諸橋吳服店 電話五十番  
合資會社 ハシモトヤ糸店 平町田町 電話十四番

富岡町 早川清久

平町二丁目 鶴屋旅館 電話二二三番

蒲鉾製造折詰仕出し 藤寅 平町二丁目 電話四一

東華皇漢藥研究所 平町五丁目

山野邊藥局 山野邊東次郎

株式會社 マルホン商店 電話三五九番 工場 電話一八二番

平町一丁目 聚樂館 電話四七〇番

平町城山 聚樂園 電話一〇九番

平町田町 平和俱樂部

平町田町 平撞球場

平町二丁目 藤市蒲鉾店 電話三〇五番

平町四丁目 マルトモ書店 電話三四番

マルトモ運動具店 電話五九七番

マルトモ食堂 電話一二三番

四倉町 四倉支局

町長 新妻盛

四倉町役場 助役 菅波千之助

四倉青年團長 菊地正一

四倉町師齒科醫組合

四倉信用組合

四倉新町 二階堂寬

四倉驛長 鈴木克哉

御料理 柏屋 電話十九番

大野消防組 組頭 木村庄助

四倉郵便局 長谷川商店 電話五三番

四倉町本町 高木屋支店 電話一三九

四倉新町 海氣館 電話五番

大野村 吉田安之助

味噌油噌 醸造元 渡邊金治 大浦村 電話四五

東部電力株式會會 四倉町字原田 電話六

製一品料理 一心 四倉町仲町 電話七四番

四倉町理髮組合組合長 古川彌右衛門

草野村消防組 組頭 新妻孝太郎

草野村役場 村長 鈴木長壽

貨物專問 酢屋自動車部 四倉町 電話六八

大浦村役場 村長 渡邊金治 助役 高橋義男

四倉消防第三部 大浦信用組合

小頭 宮澤光朝

四倉消防第三部 長谷川好男

白石屋吳服店 久之濱仲町 電話九番

# 謹賀新年

入役 荒

場主 板倉主稅 小高町

入役 小材 久以

助役 池田 辰巳

廣瀨千代吉 商店 電話四一四番

小高町前 電話四三番

金房村飯崎

縣會議員 太田秋之助 石神村

縣會議員 猪狩雄祐 大野村

縣會議員 佐藤政藏 原町

縣社太田神社 武内清賢 縣社中村神社

縣社小高神社 相馬胤良 縣社高野神社

縣社海老澤稻荷神社 佐藤左内 縣社多嶺神社

縣社八幡神社 田代皎 縣社久米松太郎

縣社大須村佐須鎮座 久米松太郎 縣社山神虎捕山神社

縣社大神宮 森伊織 縣社八幡神社

縣社新野寺 野田甫先 縣社廣橋連城

縣社廣橋連城 廣橋連城 縣社吉田快善

大須村醫務所 住職 山田智海 上真野村安養寺

縣立相馬農藝學校 校長 佐藤弘毅 原町實科高等女學校

八幡尋常高等小學校 校長 布川秀雄 太田村尋常高等小學校

磯野村尋常高等小學校 校長 飯野治郎 飯豊村尋常高等小學校

飯豊村尋常高等小學校 校長 星清森 原町岩崎清

原町岩崎清 原町佐々木時路 大須村西哲治

大須村西哲治 高野村若松運藏 郵便局長

郵便局長 若松運藏 郵便局長 幕内利治

郵便局長 幕内利治 飯田所左衛門 原町時幹

原町時幹 小高野長 陰山俊衛

小高野長 陰山俊衛 鹿島野長 荒木三郎

原町營林署 署長 時夫 原町土木監督所

原町土木監督所 所長 鈴木義雄 眞野村信用組合

眞野村信用組合 池田長八 八澤村千拓組合

八澤村千拓組合 山田茂治 村會議員

村會議員 山田茂治 鮭川組合長

鮭川組合長 高平村 村會議員 星源太郎

村會議員 星源太郎 村會議員 鈴木清助

村會議員 鈴木清助 石神村馬場 鎌倉敏藏

石神村馬場 鎌倉敏藏 石神村深野 佐藤要次郎

石神村深野 佐藤要次郎 七十七銀行原町出張所 主任

七十七銀行原町出張所 主任 宮路來祐 眞野村在郷軍人分會

眞野村在郷軍人分會 分會長 高田儀右衛門 賀正 遠藤實

賀正 遠藤實 眞野村小島田 相良醫院

眞野村小島田 相良醫院 院主 相良純次郎

院主 相良純次郎 院主 齋藤正人

院主 齋藤正人 辯護士 佐藤正人

辯護士 佐藤正人 辯護士 阿部利助

辯護士 阿部利助 原町耕地整理係 小高方部長組合

原町耕地整理係 小高方部長組合 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

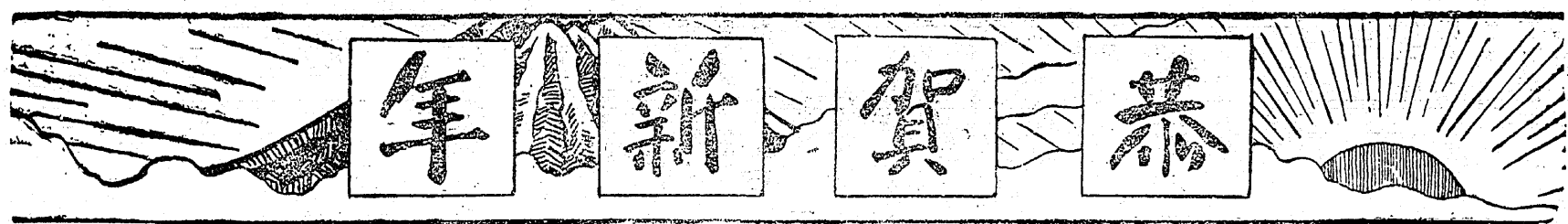
原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館

原町野屋旅館 電話二一四番 原町野屋旅館



<p>磐城炭礦株式會社 鑛業所</p>	<p>入山採炭株式會社 坑務所</p>	<p>古河炭礦 好間鑛業所</p>	<p>小田炭礦 萩原鑛業部</p>	<p>隅田川炭礦 鑛主 好間元山炭礦 津川炭礦</p> <p>小田吉治</p>	<p>平製氷株式會社</p> <p>社長 木村清治 支配人 伊藤與志郎</p>	<p>植田水電氣株式會社</p> <p>社長 金成通</p>	<p>平町長 青沼鋒太郎</p>
<p>衆議院議員 鈴木辰三郎</p>	<p>衆議院議員 佐藤庄太郎</p>	<p>衆議院議員 比佐昌平</p>	<p>縣會議員 萩原義雄</p>	<p>縣會議員 田子健吉</p>	<p>縣會議員 野崎滿藏</p>	<p>縣會議員 井上茂作</p>	<p>古川傳一</p>
<p>錦消防組頭 山崎登</p>	<p>小野晋平</p>	<p>木村清治</p>	<p>赤津庄兵衛</p> <p>石城郡勿來町</p>	<p>清關內油店</p> <p>平町字二丁目 (電話十六番)</p>	<p>釜屋商店</p> <p>諸橋久太郎 諸橋元三郎</p>	<p>山崎與三郎</p>	<p>安島重三郎</p>

綿屋吳服店  
 內科 小兒科 眼科 牙科 婦科 泌尿科 皮膚科 外科 耳鼻科 物理療法科  
 鈴木醫院  
 相馬郡 磐城無盡商會原町出張所  
 宮西種禽場  
 飯豊村役場  
 敷内胞衣治  
 磐城時報相馬支局

